

第 3 3 回 中小企業景況調査 (平成 24 年 4 月 - 6 月)

《調査結果の要約》

中小企業の業況は、引き続き改善しつつあります。

- ・全業種の業況判断 D I は、前期のプラスがさらに伸びてきました。(+8.5 → +12.9)
 - ・業種別にみると、以下のとおりです。
3 ヶ月前から好転 ↑ : 製造業、建設業、小売業 (最寄品)、サービス業
3 ヶ月前から悪化 ↓ : 飲食業、小売業 (買回品)
1. 全業種の業況判断 D I は、 +12.9 (3 ヶ月前と比べ +4.4 ポイント) とわずかにプラス幅が拡大しました。
 2. 設備投資件数は、27 件 (3 ヶ月前と比べ 7 件増加) となりました。内訳の上位は、車両運搬具 10 件、OA 機器 7 件、建物 5 件です。
 3. 経営上の問題点 (回答社数に対する比率) は、①需要の停滞 : 49% (3 ヶ月前と比べ▲8 ポイント) (61 社) が最も多く、②販売単価の低下・上昇難 : 22% (3 ヶ月前と比べ▲7 ポイント) (27 社)、③人件費以外の経費の増加 : 22% (3 ヶ月前と比べ +6 ポイント) (27 社) の 2 項目が同数で続いています。

〈中小企業の景況トピックス〉

- ・国内全産業の業況判断 D I は、▲21.7 (3 ヶ月前と比べ +2.5 ポイント) となり、わずかにマイナス幅が縮小しました。業種別には、製造業は▲20.4 (3 ヶ月前と比べ▲1.4 ポイント)、非製造業は▲22.0 (3 ヶ月前と比べ +4.3 ポイント) となりました。
- ・神奈川県全産業の業況判断 D I は、▲42.3 (3 ヶ月前と比べ +2.7 ポイント) とわずかにマイナス幅が縮小しました。業種別には、製造業は▲33.3 (3 ヶ月前と比べ▲4.9 ポイント)、建設業は▲42.1 (3 ヶ月前と比べ▲2.7 ポイント)、商業・サービス業は▲42.8 (3 ヶ月前と比べ +9.7 ポイント) となりました。

※国内は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構、神奈川県は財団法人 神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋

《調査要領》

1. 調査時点：平成24年4月現在
2. 調査対象：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から150企業を抽出しました。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合 計
			最寄品	買回品			
調査件数	15	15	23	30	37	30	150
回答数	14	15	18	27	25	25	124
回答率	93.3%	100.0%	78.3%	90.0%	67.6%	83.3%	82.7%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式(一部経営指導員による聞き取り)

4. 調査項目

- (1). DIの状況について
 - ① 自社の業況 ② 売上額 ③ 資金繰り ④ 採算 ⑤ 従業員数
- (2). 設備投資について
- (3). 経営上の問題点について

5. 調査データについて

- (1). DI：Diffusion Index(ディフュージョンインデックス・景気動向指数)の略。

各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。

- (2). データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3ヵ月の見通しを対比したものです。

- ・四半期；1年の4分の1、すなわち「3ヵ月間」
- ・前期比；3ヵ月前との比較
- ・前年同期比；1年前との比較

<DI計算例>

「やや増加」・「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」・「やや減少」30% の場合、次のような計算になります。

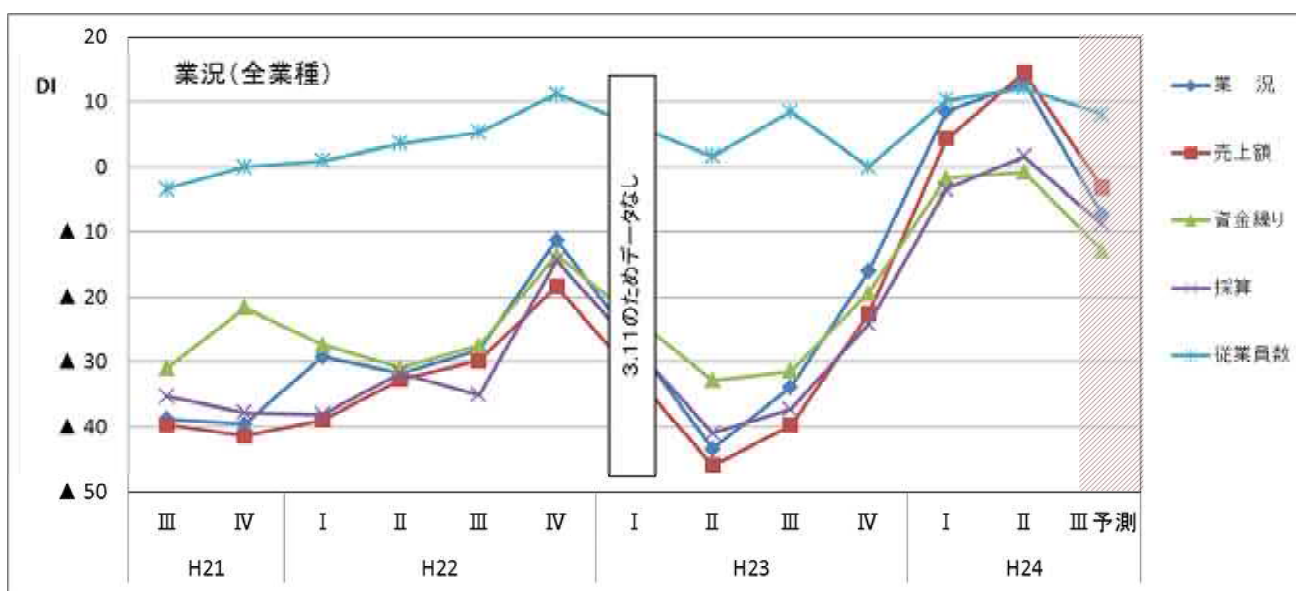
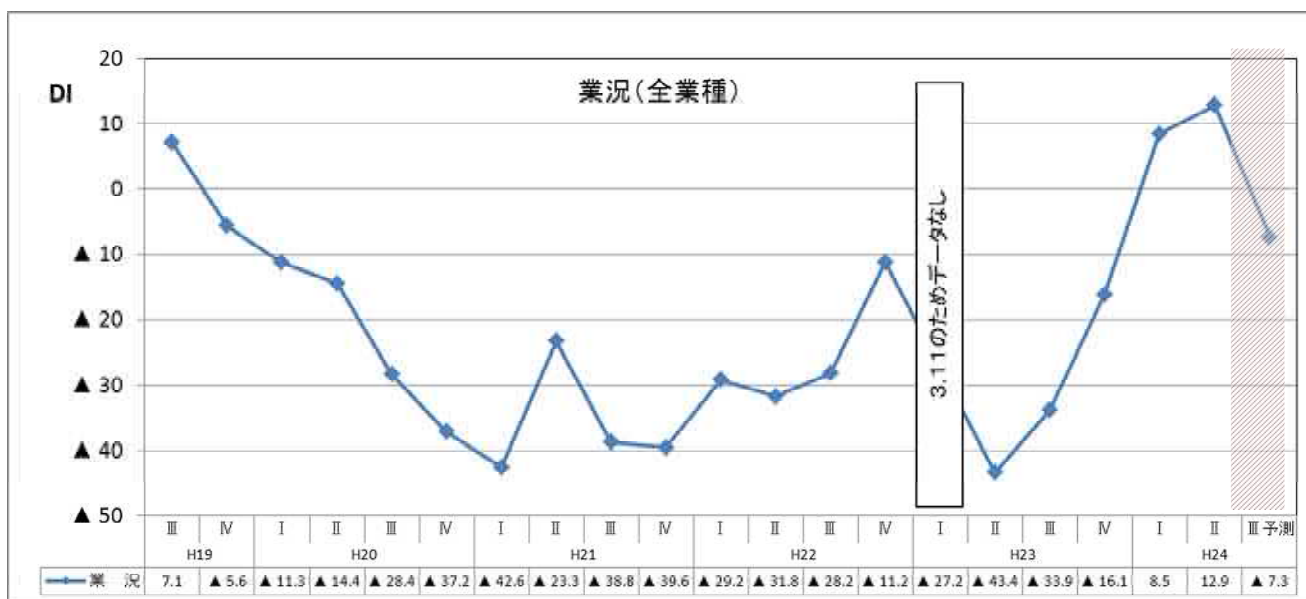
$$\begin{aligned}
 DI &= 50 - 30 \\
 &= 20
 \end{aligned}$$

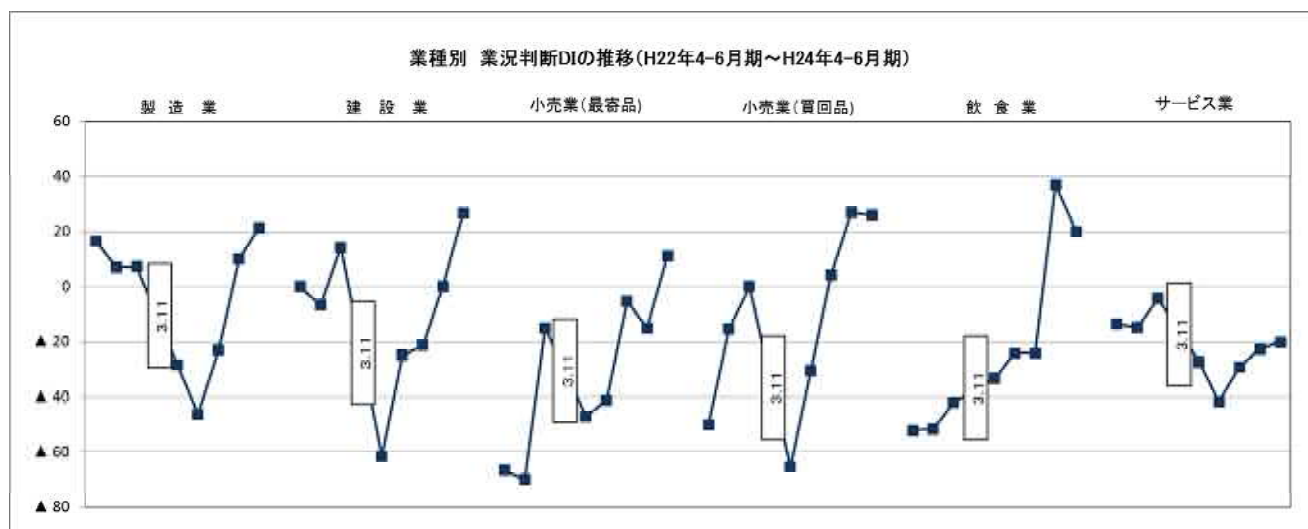
《調査結果》

I. 全業種

□ 業況 DI

- ・ 全業種の業況判断 DI は+12.9（前期比+4.4 ポイント）とわずかにプラス幅が拡大し、3 ヶ月先は▲7.3 と悪化の見通しです。
- ・ 売上 DI は+14.5（前期比+10.2 ポイント）とプラス幅が拡大し、3 ヶ月先は▲3.2 と悪化の見通しです。
- ・ 資金繰り DI は▲0.8（前期比+0.9 ポイント）とほぼ横ばいで、3 ヶ月先は▲12.9 と悪化の見通しです。
- ・ 採算 DI は+1.6（前期比+5.0 ポイント）とマイナスからプラスに改善し、3 ヶ月先は▲8.9 と悪化の見通しです。
- ・ 従業員数 DI は+12.1（前期比+1.8 ポイント）と人手不足感はほぼ横ばいで、3 ヶ月先は+8.1 と人手不足感が縮小する見通しです。
- ・ 業種別の業況判断 DI は、製造業、建設業、小売業（最寄品）、サービス業で好転しましたが、小売業（買回品）、飲食業は悪化しました。



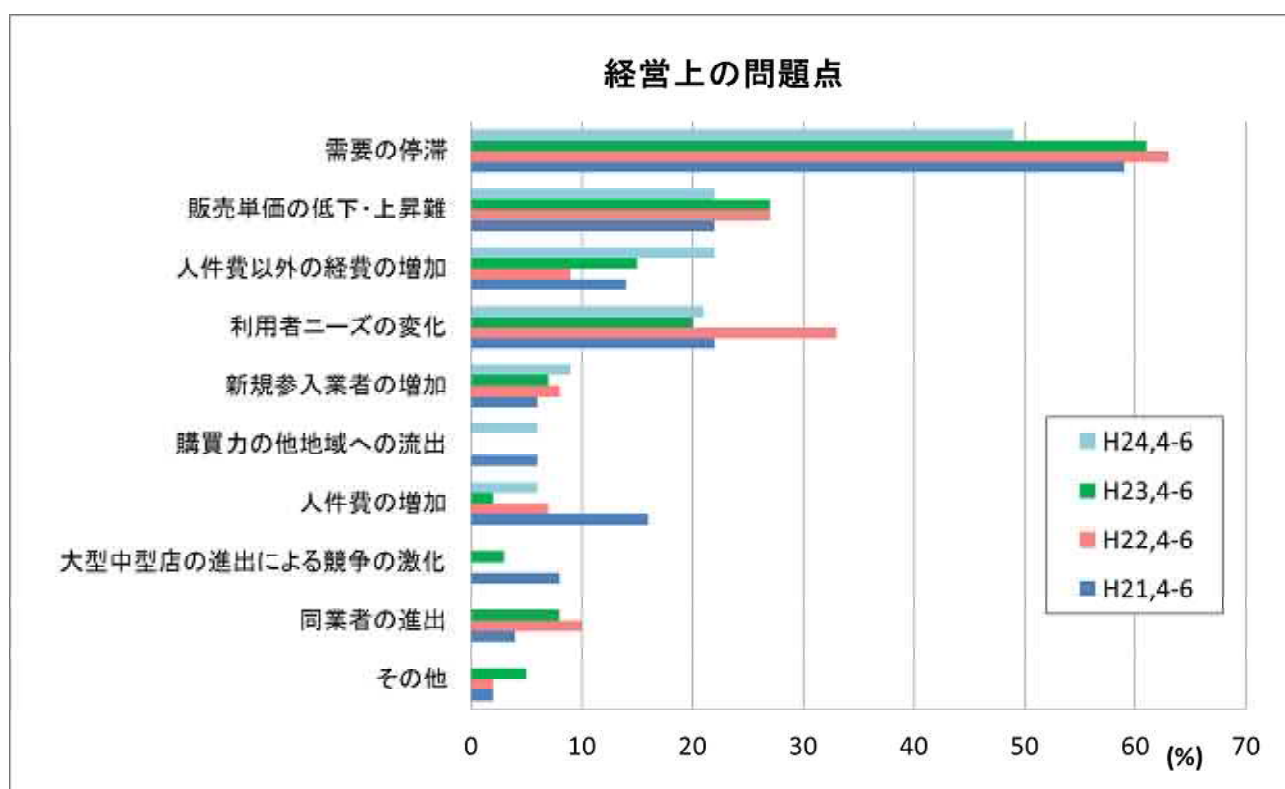


□設備投資の動向

- ・設備投資件数は、27 件（3 ヶ月前から 7 件増加）となりました。内訳の上位は、車両運搬具 10 件、OA機器 7 件、建物 5 件です。

□経営上の問題点

- ・経営上の問題点は、①需要の停滞：49%（61 社）が最も多く、②販売単価の低下・上昇難：22%（27 社）、③人件費以外の経費の増加：22%（27 社）の 2 項目が同数で続いています。

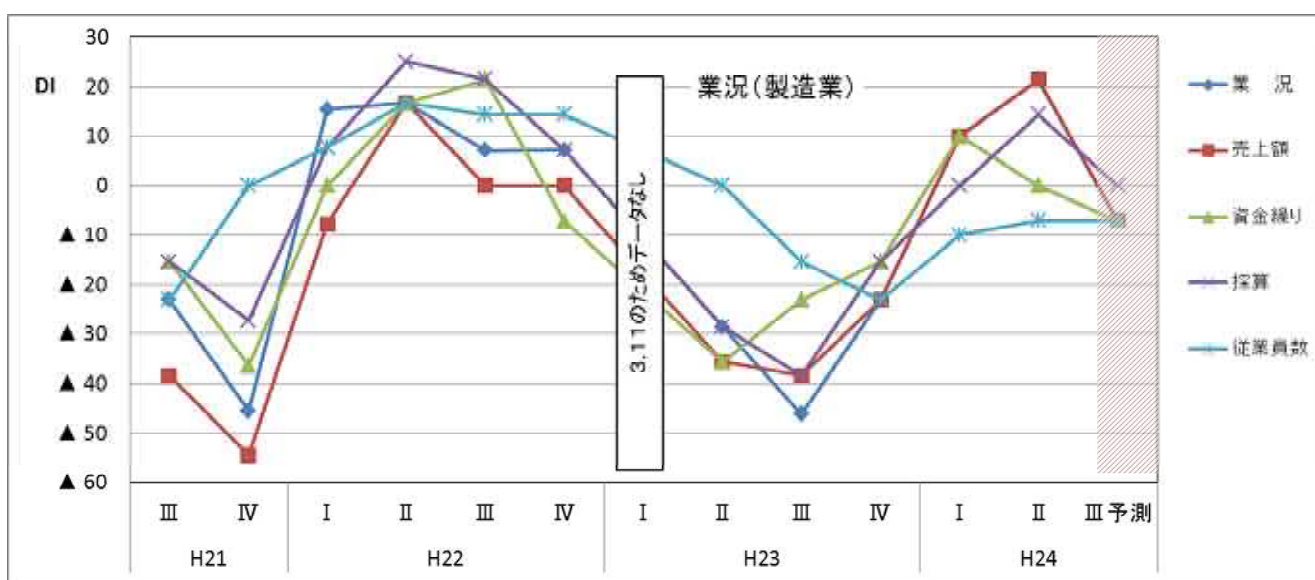


Ⅱ.業種別

1. 製造業

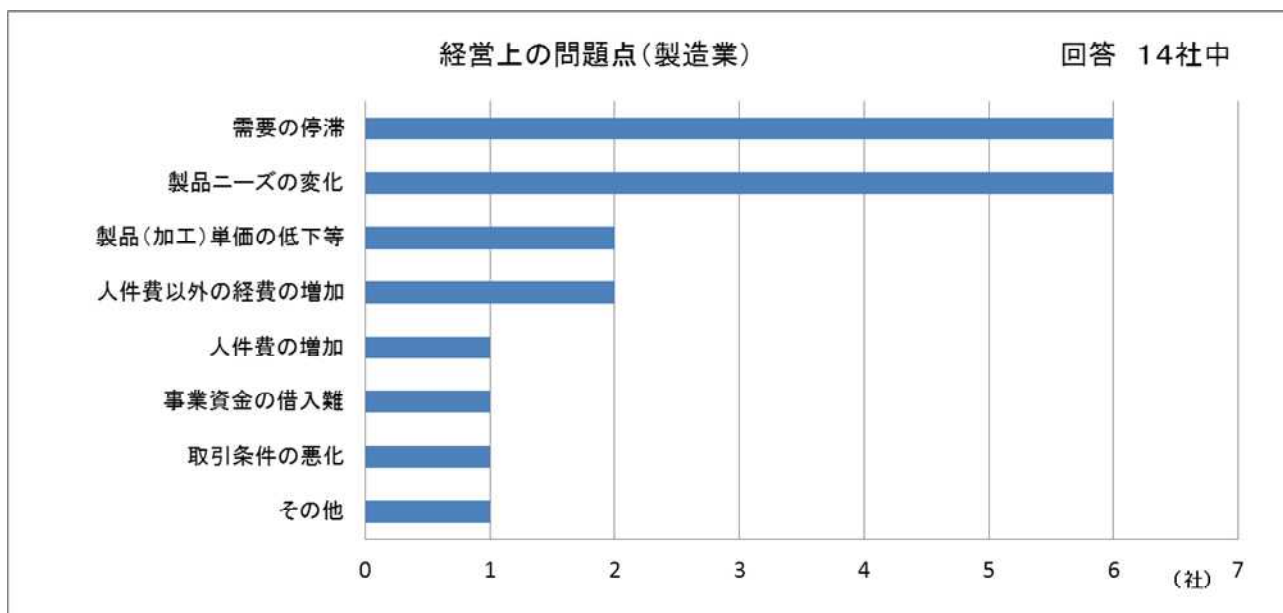
□業況 DI

- ・業況判断 DI は+21.4（前期比+11.4 ポイント）とプラス幅が拡大し、3 ヶ月先は▲7.1 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は+21.4（前期比+11.4 ポイント）とプラス幅が拡大し、3 ヶ月先は▲7.1 と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は±0（前期比▲10.0 ポイント）とプラス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲7.1 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は+14.3（前期比+14.3 ポイント）とプラスに改善し、3 ヶ月先は±0 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は▲7.1（前期比+2.9 ポイント）と人手過剰感が縮小し、3 ヶ月先は▲7.1 と横ばいの見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は機械設備 2 件、OA 機器、車両運搬具各 1 件です。

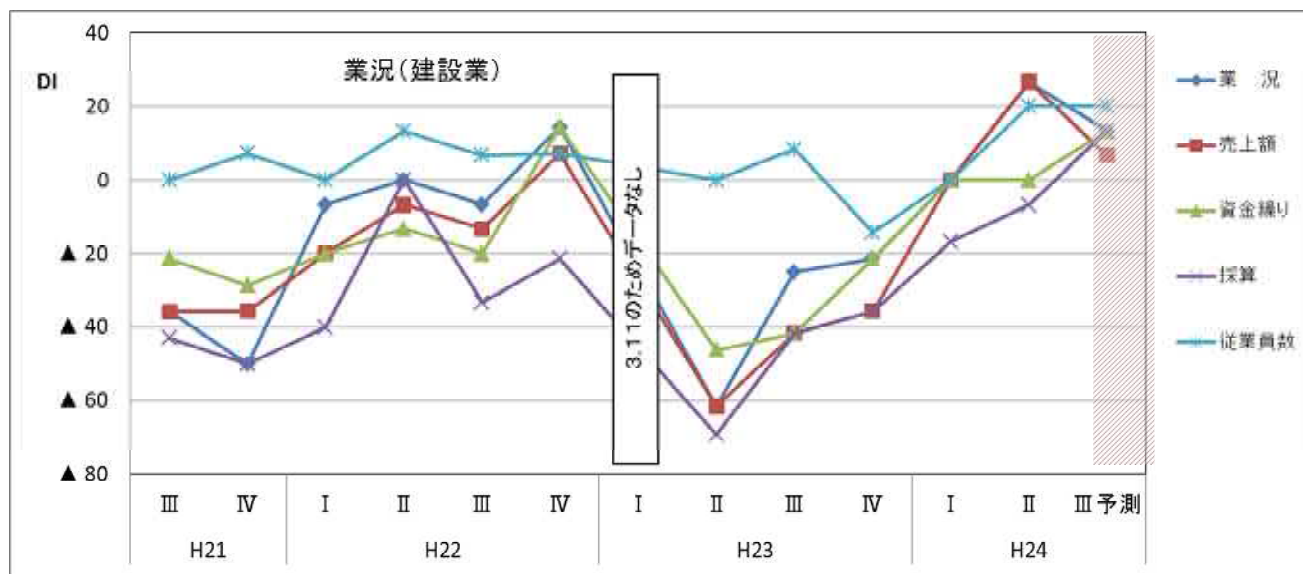
□経営上の問題点



2. 建設業

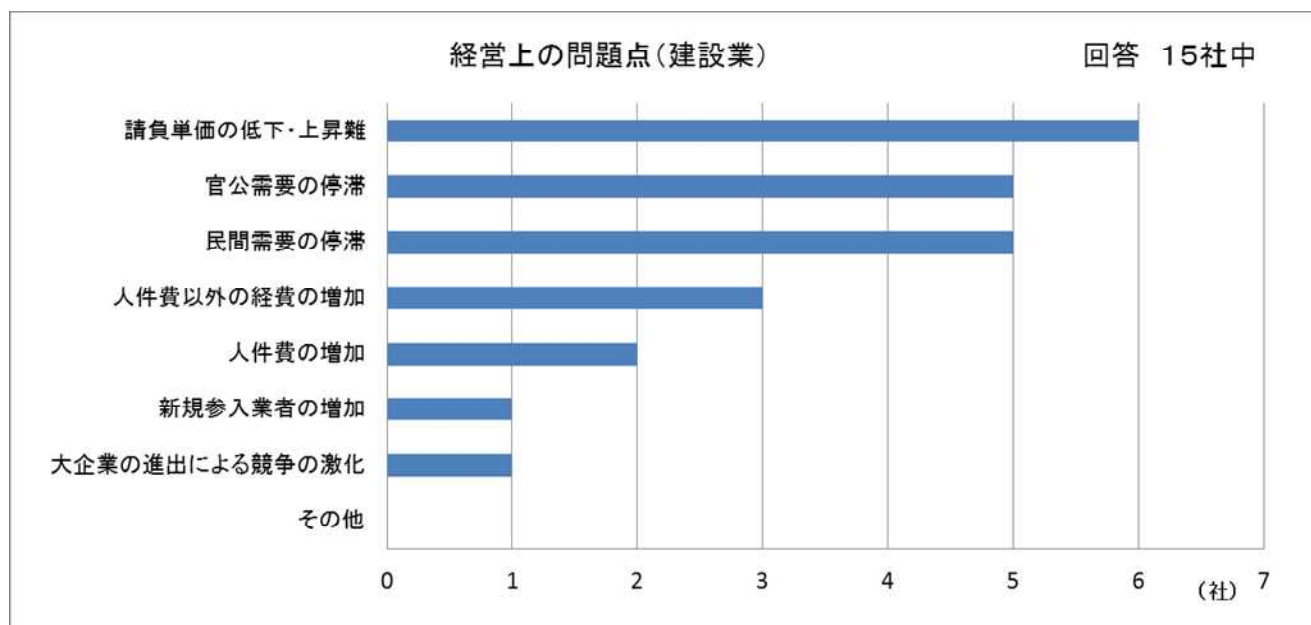
□業況 DI

- ・業況判断 DI は+26.7（前期比+26.7 ポイント）と大きくプラスに改善し、3 ヶ月先は+13.3 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は+26.7（前期比+26.7 ポイント）と大きくプラスに改善し、3 ヶ月先は+6.7 と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は±0（前期比±0 ポイント）と横ばいで、3 ヶ月先は+13.3 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は▲6.7（前期比+10.0 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は+13.3 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は+20.0（前期比+20.0 ポイント）と大きく人手不足感が生じ、3 ヶ月先は+20.0 と横ばいの見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数はOA機器2件、車両運搬具1件です。

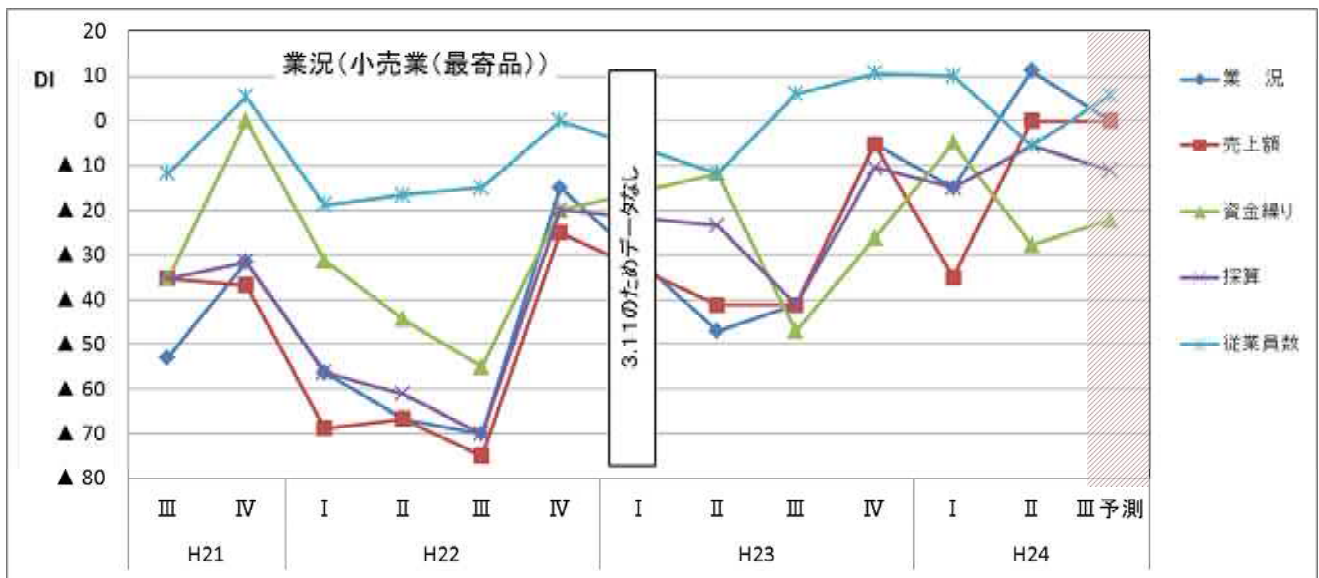
□経営上の問題点



3. 小売業（最寄品）

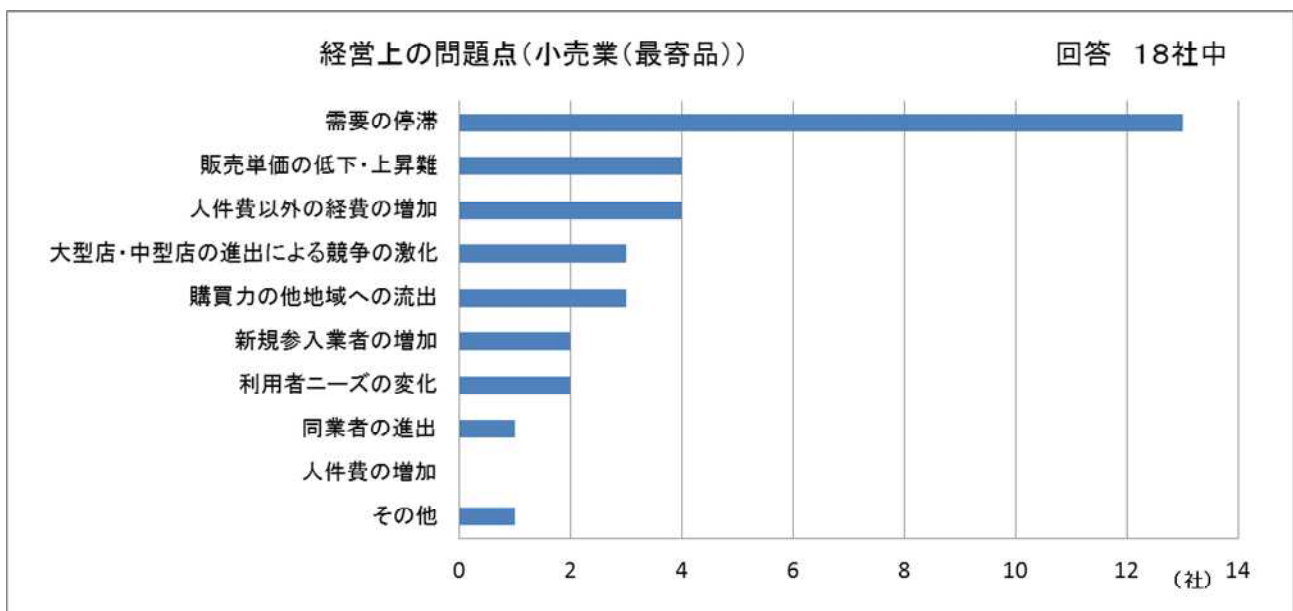
□業況 DI

- ・業況判断 DI は+11.1（前期比+26.1 ポイント）とマイナスからプラスへ大きく改善し、3 ヶ月先は±0 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は±0（前期比+35.0 ポイント）とマイナス幅が大きく縮小し、3 ヶ月先は±0 と横ばいの見通しです。
- ・資金繰り DI は▲27.8（前期比▲22.8 ポイント）とマイナス幅が大きく拡大し、3 ヶ月先は▲22.2 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は▲5.6（前期比+9.4 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲11.1 と悪化の見通しです。
- ・従業員 DI は▲5.6（前期比▲15.6 ポイント）と人手過剰感に転じ、3 ヶ月先は+5.6 と人手不足感に戻る見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は車両運搬具 2 件、建物 1 件です。

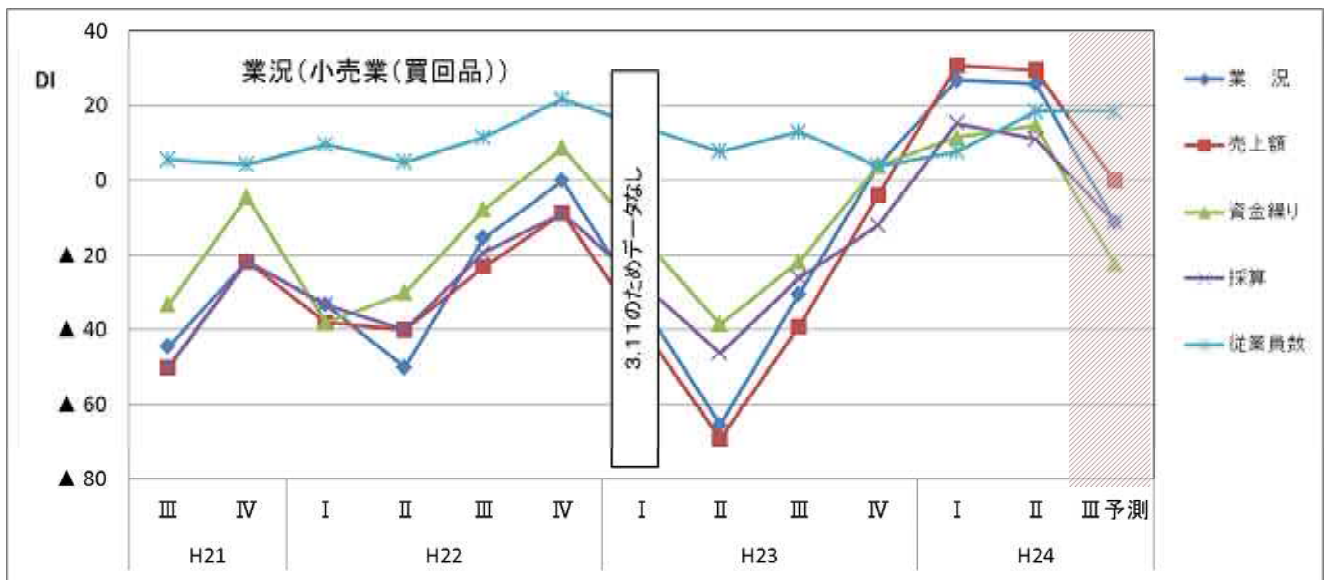
□経営上の問題点



4. 小売業（買回品）

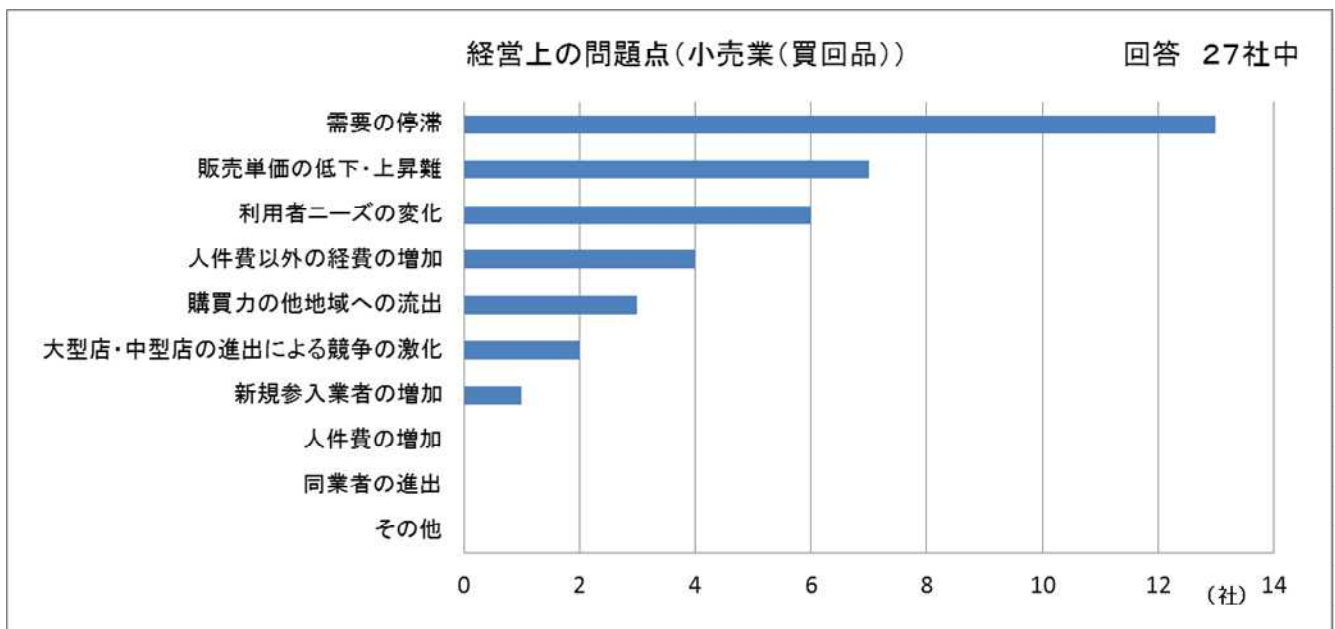
□業況 DI

- ・業況判断 DI は+25.9（前期比▲1.0 ポイント）とほぼ横ばいで、3 ヶ月先は▲11.1 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は+29.6（前期比▲1.2 ポイント）とほぼ横ばいで、3 ヶ月先は±0 と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は+14.8（前期比+3.3 ポイント）とわずかにプラス幅が拡大し、3 ヶ月先は▲22.2 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は+11.1（前期比▲4.3 ポイント）とわずかにプラス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲11.1 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は+18.5（前期比+10.8 ポイント）と人手不足感が拡大し、3 ヶ月先は+18.5 と横ばいの見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は建物 2 件、OA 機器、機械設備、車両運搬具各 1 件です。

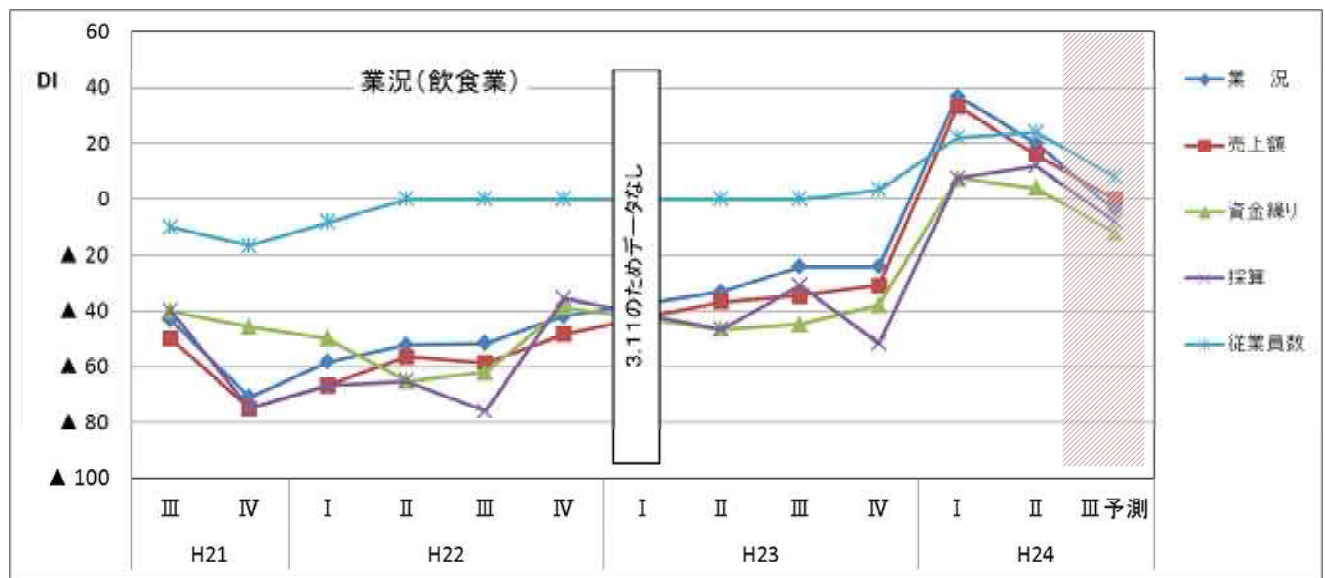
□経営上の問題点



5. 飲食業

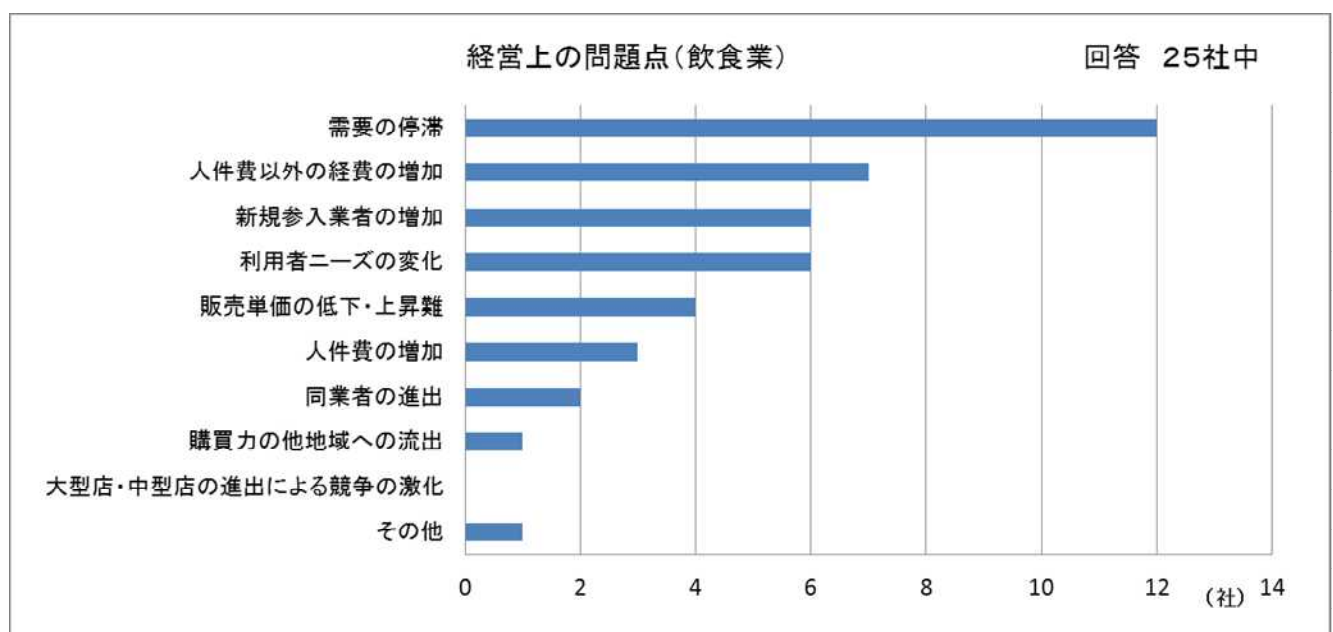
□業況 DI

- ・業況判断 DI は+20.0（前期比▲17.0 ポイント）とプラス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲4.0 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は+16.0（前期比▲17.3 ポイント）とプラス幅が縮小し、3 ヶ月先は±0 と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は+4.0（前期比▲3.4 ポイント）とわずかにプラス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲12.0 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は+12.0（前期比+4.6 ポイント）とわずかにプラス幅が拡大し、3 ヶ月先は▲8.0 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は+24.0（前期比+1.8 ポイント）と人手不足感は横ばいで、3 ヶ月先は+8.0 と人手不足感は縮小する見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は車両運搬具 3 件、機械設備、OA 機器、その他各 1 件です。

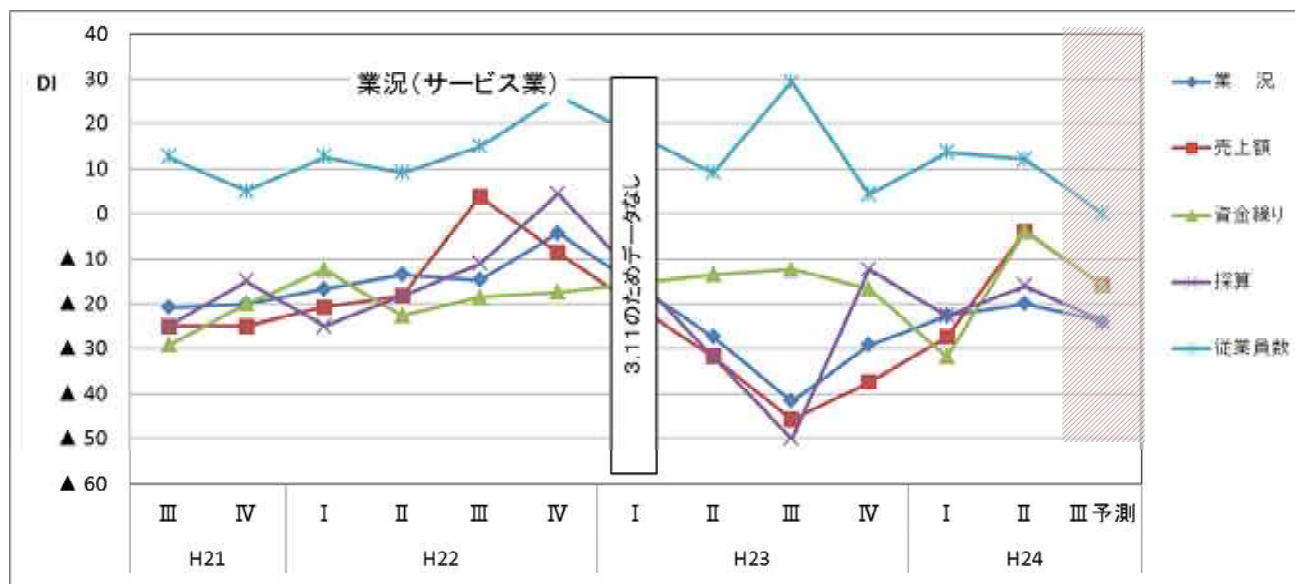
□経営上の問題点



6. サービス業

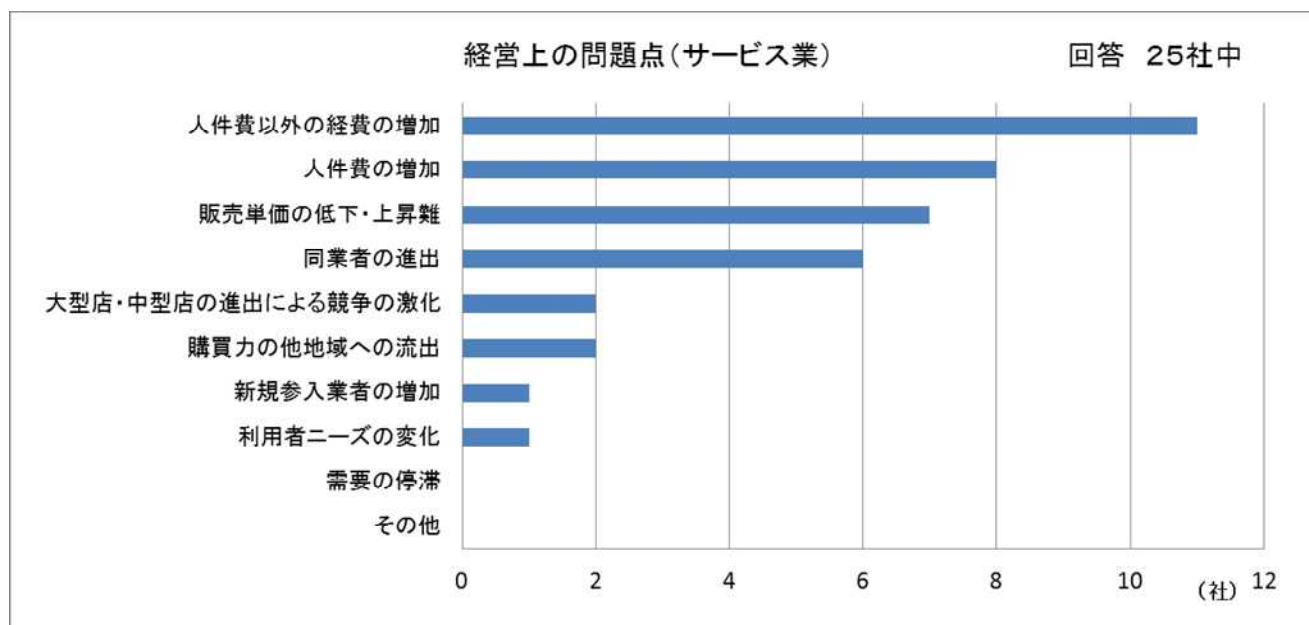
□業況 DI

- ・業況判断 DI は▲20.0（前期比+2.7 ポイント）とわずかにマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲24.0 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は▲4.0（前期比+23.3 ポイント）とマイナス幅が大きく縮小し、3 ヶ月先▲16.0 と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は▲4.0（前期比+27.8 ポイント）とマイナス幅が大きく縮小し、3 ヶ月先は▲16.0 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は▲16.0（前期比+6.7 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲24.0 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は+12.0（前期比▲1.6 ポイント）と人手不足感はほぼ横ばいし、3 ヶ月先は±0 と不足感は解消の見通しです。

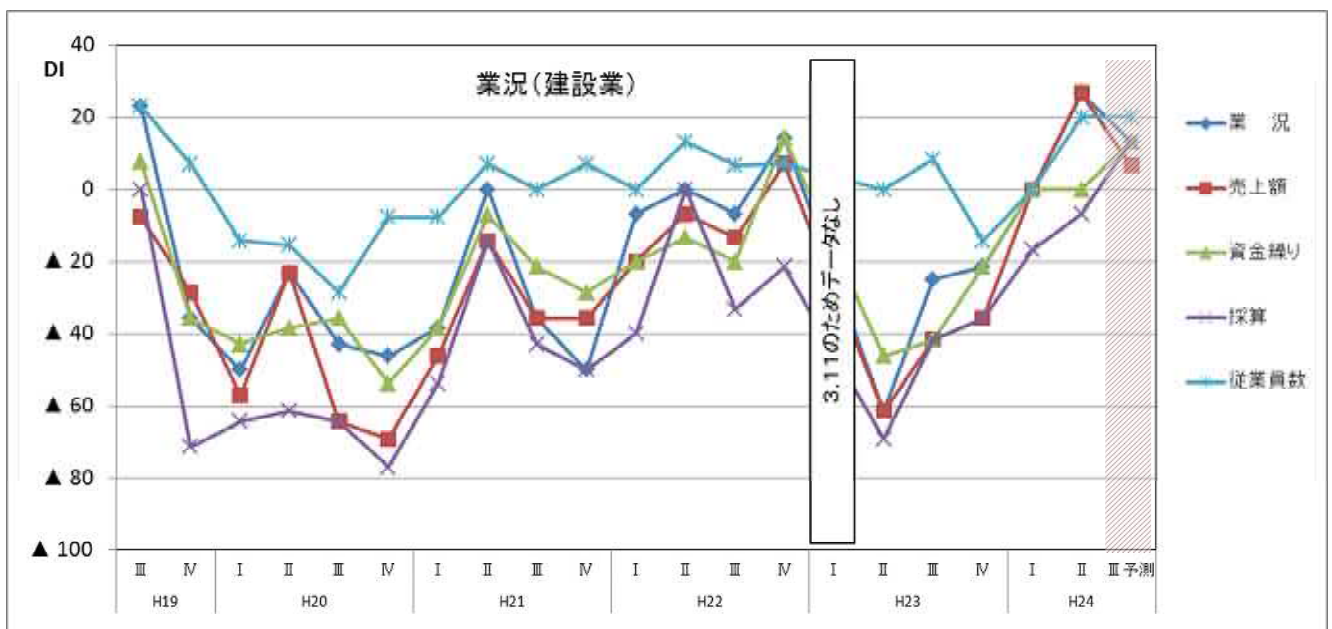
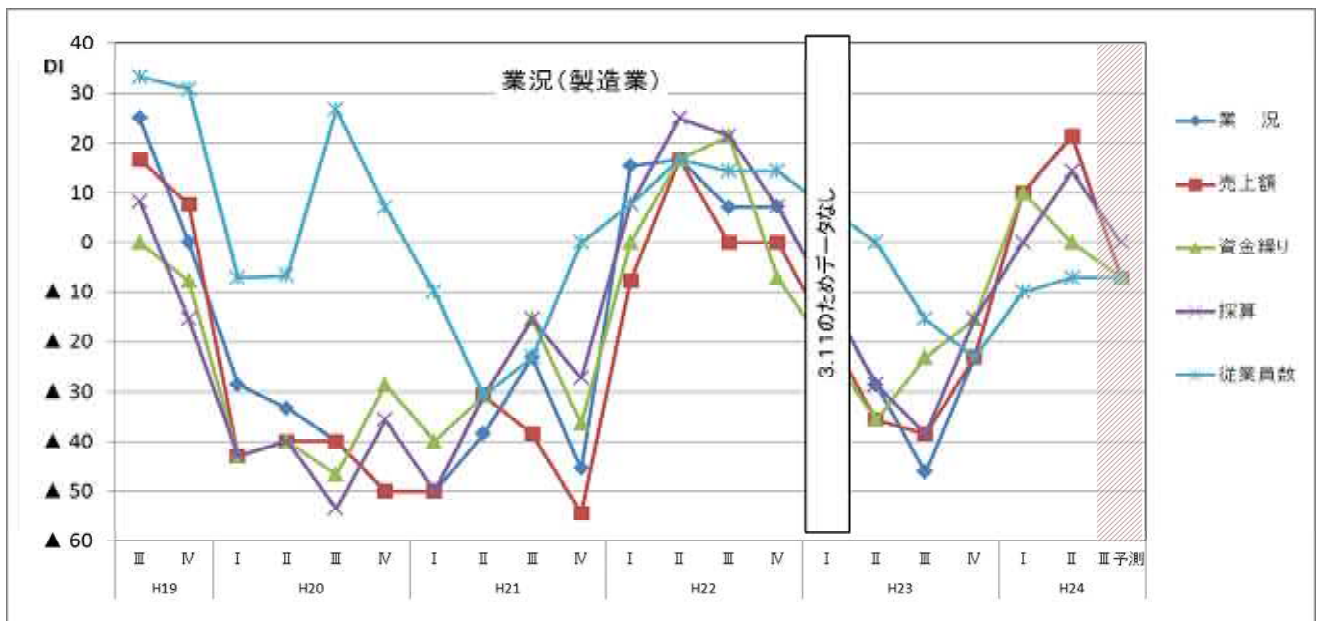
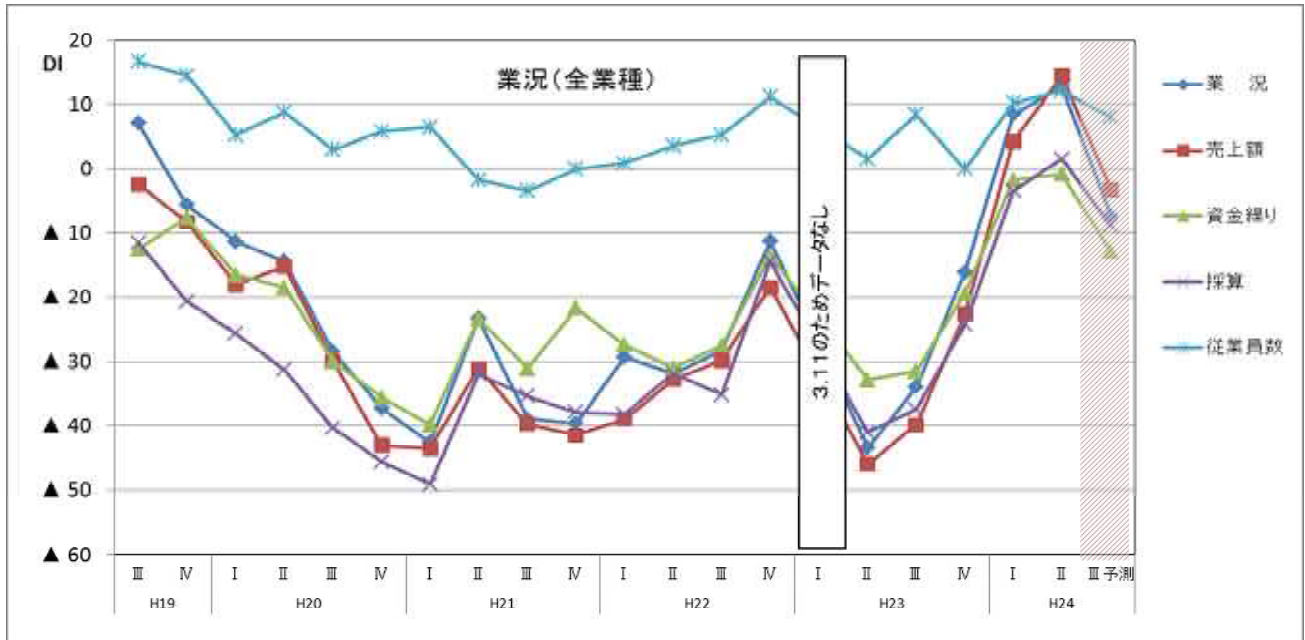


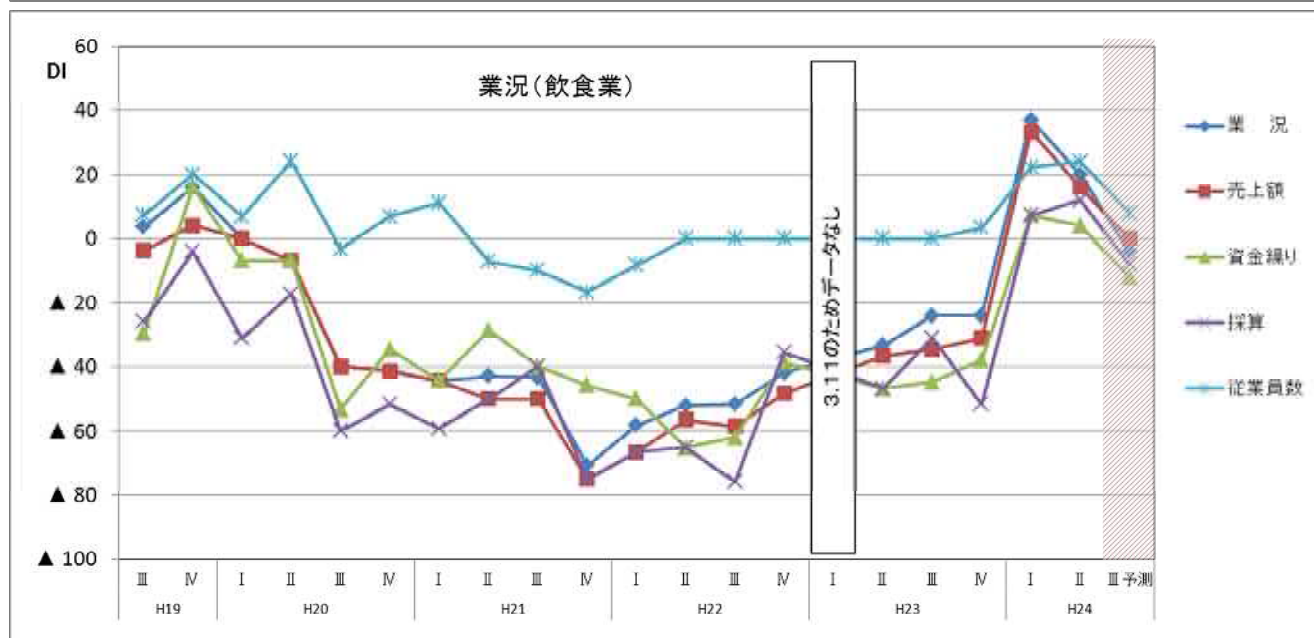
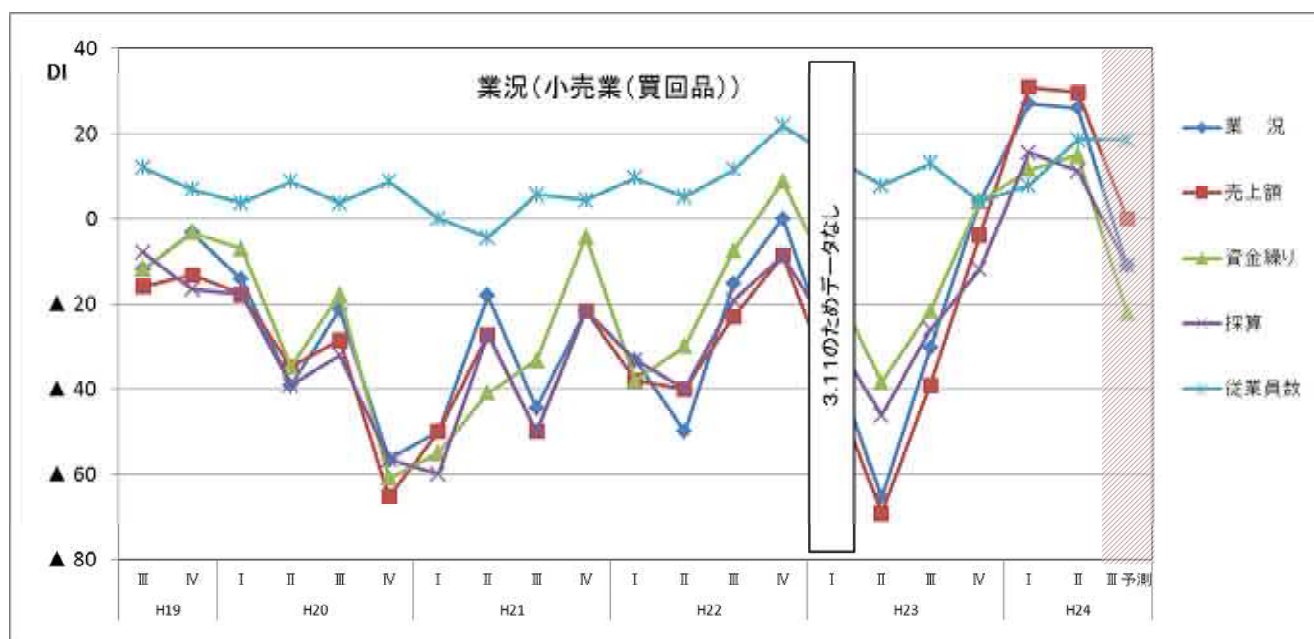
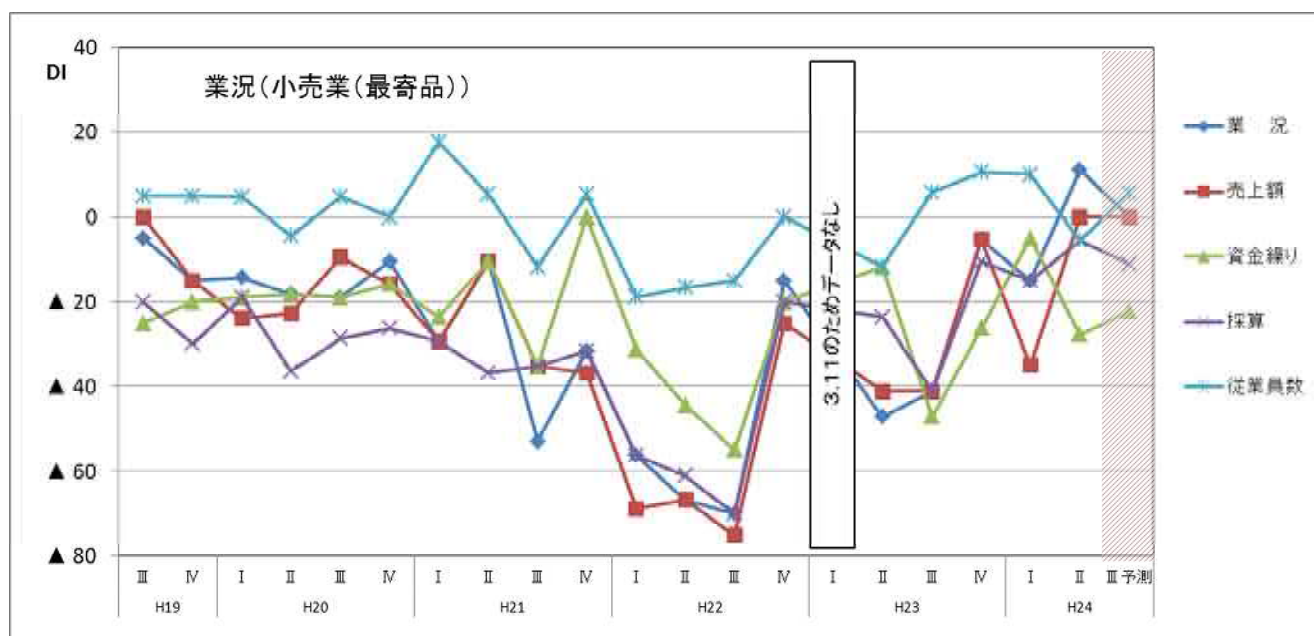
□設備投資の動向 設備投資件はOA機器、建物、車両運搬具各2件です。

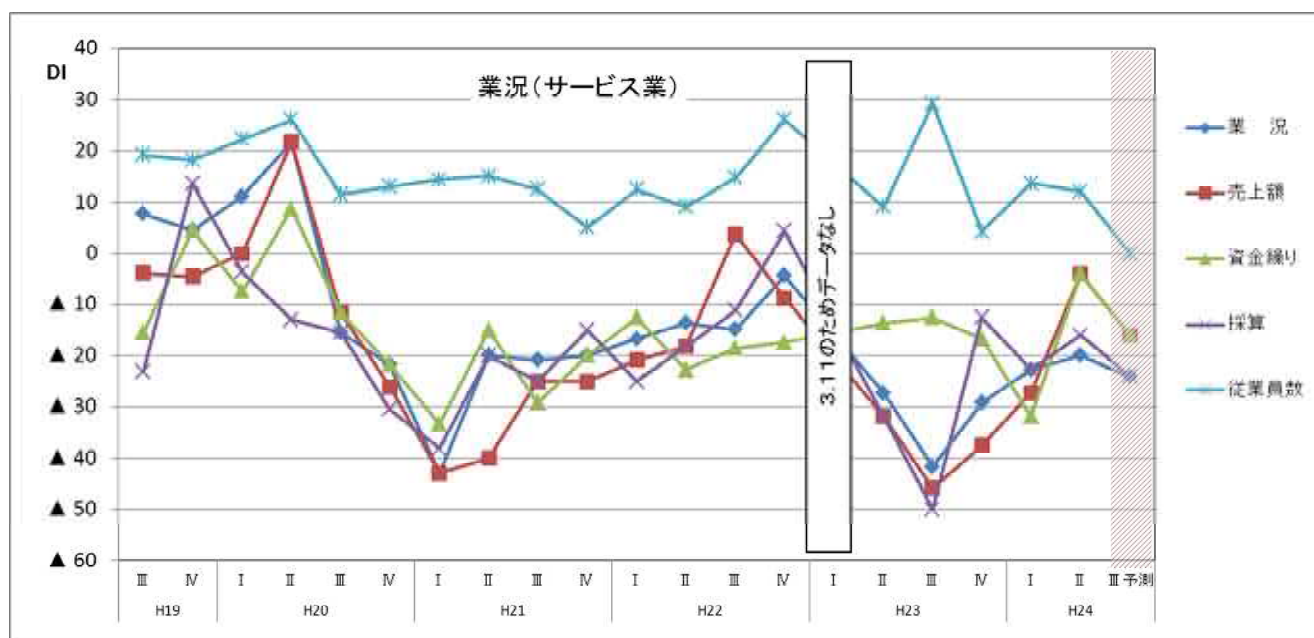
□経営上の問題点



《資料》 5年分の推移







雑談コラム

すこし硬い話になりますが、上場している企業には財務報告にウソがないようにするため、2008年から J-SOX 法が適用されています。「オレのところは中小企業だし、上場しているわけでもないから関係ないや」という経営者が多いと思いますが、J-SOX 法のなかの“内部統制の整備”はどんな小さな会社でも参考になります。品質の ISO9001 や環境の ISO14001 を取り入れている会社さんもあるかと思いますが、実はどれもマネジメント・システムなのです。内部統制は“会社経営のやりかたの基本”と言えます。それは直接お金儲けをしてくれる道具ではないため、普段は気にかけませんが、人間であれば、“健康なからだづくり”のようなものなのです。内部統制は4つの目的と6つの要素からなります。

「4つの目的」：①財務報告の信頼性 ②業務の有効性・効率性 ③コンプライアンス ④資産の保全

「6つの要素」：①統制環境 ②リスク評価と対応 ③統制活動 ④情報と伝達 ⑤監視活動 ⑥ITへの対応

内部統制も ISO も、日本人の生真面目さが影響して用語一つひとつこだわるがあまり、必要以上の文書を作り、会議を繰り返し、本質を理解することなく終わってしまいがちです。ツワモノどもの夢の跡が形骸化した書類の山では、経営者がアレルギー反応を起こすのも当然かもしれません。内部統制の目的の①を製品・サービスの品質あるいは環境などに置き換えて考えると、マネジメント・システムがひとつに統合できるかも知れません。

(TM 中小企業診断士)

設備投資

全業種	H19		H20				H21				H22				H23				H24		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	7	12	6	5	6	4	12	3	8	5	4	7	6	4	-	8	4	4	5	7	3
機械設備	8	11	9	5	8	5	6	4	7	5	2	4	1	1	-	3	1	6	3	4	2
車輦運搬具	7	6	5	3	4	7	2	7	4	6	1	3	6	1	-	3	4	3	5	10	5
建物	6	4	6	3	5	2	1	2	1	2	1	1	4	3	-	3	5	4	7	5	3
その他	1	2	3	1	2	3	3	1	1	3	0	1	2	1	-	3	3	0	0	1	0

製造業	H19		H20				H21				H22				H23				H24		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器		2	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	-	2	1	0	0	1	1
機械設備		1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	-	0	1	1	1	2	1
車輦運搬具	1		0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	-	1	0	1	0	1	0
建物	1		1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	-	0	0	0	1	0	0
その他		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0

建設業	H19		H20				H21				H22				H23				H24		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1	1	-	1	1	3	0	2	0
機械設備		1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	-	0	0	1	0	0	0
車輦運搬具	2	2	2	0	1	2	0	3	1	2	1	1	0	0	-	0	1	1	2	1	1
建物	1		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	1	0	0
その他		1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0

小売業 (最寄品)	H19		H20				H21				H22				H23				H24		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	2	3	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	-	0	0	0	1	0	0
機械設備	1	2	1	1	3	0	1	1	1	1	0	1	0	1	-	0	0	2	0	0	0
車輦運搬具	1	3	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	2	0	-	1	2	0	1	2	1
建物		1	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	-	0	2	2	2	1	1
その他			0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	-	0	1	0	0	0	0

小売業 (買回品)	H19		H20				H21				H22				H23				H24		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器			0	0	1	1	0	0	1	1	1	2	0	0	-	1	1	1	0	1	0
機械設備		1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	1	0
車輦運搬具			1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	0	-	0	1	1	0	1	0
建物		1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	-	1	1	0	1	2	0
その他			0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	0	0	0	0	0

飲食業	H19		H20				H21				H22				H23				H24		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	1	1	0	0	1	0	1	0	2	1	1	1	0	1	-	1	0	0	0	1	0
機械設備	6	5	5	4	3	2	3	2	2	1	0	3	0	0	-	2	0	2	1	1	1
車輦運搬具	1		0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	-	0	0	0	1	3	1
建物	4	2	3	1	2	1	1	0	1	0	0	0	2	3	-	2	1	1	1	0	0
その他			2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	-	2	2	0	0	1	0

サービス業	H19		H20				H21				H22				H23				H24		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	3	5	2	3	2	1	5	0	4	0	0	1	3	0	-	3	1	0	4	2	2
機械設備	1	1	0	0	1	2	1	1	3	2	0	0	0	0	-	1	0	0	1	0	0
車輦運搬具	2	1	1	1	1	2	1	2	1	1	0	1	1	0	-	1	0	0	1	2	2
建物			0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	-	0	1	1	1	2	2
その他			0	1	1	0	2	0	1	1	0	1	1	0	-	0	0	0	0	0	0

以上